

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【基本の問題】【章の問題A・B】【補充の問題】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、九九表のきまりを考える課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『数学マイノート』に掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、スポーツ栄養士を例に、社会で数学が活用されている事例が『MATH CONNECT』に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『大切にしたい数学の学び方』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、2次方程式を利用した畑の通路の幅の求め方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【深い学び】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、食品ロスの量を考える学習活動が【食品ロスの未来を予測しよう】に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【棒の本数を求めてみよう】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、保健体育科と関連した学習活動が【ランドルト環のしくみ】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【2つの正三角形の性質は?】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、伊能忠敬が日本地図を作った方法が『伊能忠敬の業績を知ろう』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【いろいろな面積の正方形をかくてみよう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【算数から数学へ】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【ルート2は本当に分数で表せない?】に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【走行時の速さを推測しよう】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、例題と同じ型の問題であることを表したハートマーク(♥)が『問〇』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【先にゴールするのはどのコース?】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、三角形の合同条件を基に角の二等分線の作図を証明する学習活動が【Q考えてみよう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【四角形の各辺の中点を結んだ図形は?】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【どのように調査しているのかな?】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、【基本の問題】【章の問題A・B】【もっと数学をつなげよう】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての生徒の色覚特性に適切するようにデザインしています。』『ルビなどの小さい文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	大日本	書名	数学の世界
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【たしかめよう】【○章をふり返ろう】【補充問題】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、持久走の記録を比べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートの作り方例』に掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、スポーツデータアナリストを例に、社会で数学が活用されている事例が『社会にリンク』に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『数学の世界へようこそ』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、相似を利用した校舎の高さの調べ方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【解決のしかたを探ろう】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、蛍光灯とLED電球の値段と耐久時間の関係を考える学習活動が【どちらの電球を買う?】に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【75°の角をつくろう】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、理科と関連した学習活動が【震源から何km離れているかな】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【倍数の見分け方】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、さしがねを使った丸太の切り方が『丸太から角材を切り出す方法を考えよう』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、ゲームを実行してその仕組みを考える学習活動が【数当てゲームをやってみよう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【小学校算数のふり返り】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【三角形の重心】に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【停止距離は何mになるだろうか】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『思い出そう』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【図形のなかに現れる関数について調べよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、複数のドットプロットを基に分布の様子を比べる学習活動が【?考えよう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【通路の幅を決めよう】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【英和辞典の見出し語は全部で何語か推定しよう】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、【たしかめよう】【○章を振り返ろう】【もっと数学の世界へ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 << 数学 (数学) >>

※詳細については、資料 II (数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	学図	書名	中学校 数学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【確かめよう】【○章のまとめの問題 基本・応用・活用】【○年の復習】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数直線を使って正負の数の大小を比べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートの使い方』に掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、ルーローの三角形を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学へのいざない』に掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『表現する力を身につけよう』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、円周角が中心角の半分の大きさになることを証明する課題を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【説明する力をつけよう】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、日本の複数の都市の降水量の変化を考える学習活動が【降水量は多くなったのか?】に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p><< 教科・種目共通の観点 >></p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【ストーリーは何本必要?】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、社会科と関連した学習活動が【時刻がもどる?】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【条件を変えて考えよう】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、葛飾北斎が取り入れた構図の方法が『黄金比って何?』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【長方形の面積は?】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【ふりかえり～算数から数学へ～】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【乗法公式を使った分母の有理化】に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【スピードと停止距離の関係は?】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、問題の解決方法を探す上で関わりのある視点が『見方・考え方』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【時間と距離の関係は?】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p><< 各教科・種目別の観点 >> (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、等式の変形を基に連立方程式の代入法を考える学習活動が【Question】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【動かして考えよう】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【この調査は有効か?】に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、【確かめよう】【○章のまとめの問題 基本・応用・活用】【さらなる数学へ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学数学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【基本の問題】【○章 章の問題】【補充問題/実力アップ問題】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、貸した本の冊数の平均を求める課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返りするためのノートの作り方が『工夫してノートを書こう』に掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、スポーツアナリストを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学しごと人』に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『みんなで数学をはじめよう!』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、2次方程式を利用した道幅の求め方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話し合ってみよう】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とのかかわる力]の「環境教育」について、日本の都市の冬日の日数の傾向を考える学習活動が【冬日は本当に減ってきているのかな?】に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【キャップは何個集まっているのかな?】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、社会科と関連した学習活動が【時差は何時間かな?】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【角の大きさの求め方を考えよう】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本で独自に発達した数学の紹介が『和算と算額』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さは?】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【○章を学習する前に】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【三角形の重心】に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【何秒後かな?】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『もどって確認』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【三平方の定理の証明パズル】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、三角形の合同条件を基に直角三角形の合同条件を見つける学習活動が【Q】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【箱の高さは何cmになるのかな?】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【どんな調査が行われているのかな?】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、【基本の問題】【○章 章の問題】【数学ライブラリー】が掲載されている。第2学年は7章、第1、3学年は8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	啓林館	書名	未来へひろがる数学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【練習問題】【○章 章末問題】【力をつけよう】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、円柱の表面積を求める課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートをくふうして、学習に役立てよう』に掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、琵琶湖の水位のコントロールを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学ライブラリー』に掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『表現する力を身につけよう』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、方眼を使った異なる面積の正方形の作成を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話しあおう】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、集中豪雨の発生回数の傾向を考える学習活動が【大雨の発生状況を調べよう】に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【1日乗り放題のチケットを買った方がいい?】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、保健体育科と関連した学習活動が【ランドルト環】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【角の大きさを求めることができるかな?】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、大工が使うさしがねの紹介が『曲尺の秘密』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、複数の円周角をかいて大きさを比べる学習活動が【ストリングアートの中のきまりをさがそう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確かめる学習活動が【ふりかえり 算数】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【ルート2が無理数であることの証明】に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【車は急にとまれない】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『ふりかえり』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【校舎の高さを求めるには?】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、三角形の内角の和を基に多角形の内角の和を求める学習活動が【ひろげよう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【全身がうつる鏡】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【47都道府県ランキングを見てみよう】に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、【練習問題】【○章 章末問題】【数学広場】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 <<数学(数学)>>

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	数研	書名	これからの 数学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【確認問題】【問題A・B】【ぐんぐんのぼそチャレンジ編】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、加法の交換法則・結合法則を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートのつくり方』に掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、気象予報士を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学旅行』に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『学習の進め方』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、三平方の定理の逆が成り立つ理由を考える課題を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【考えよう】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、世界の平均気温の上昇量を考える学習活動が【学んだことを活用しよう】に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p><<教科・種目共通の観点>></p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【必要な石の数を求めよう】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、家庭科と関連した学習活動が【温める時間をちょうどよく設定しよう】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【時速9kmで走った道のりを求めよう】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本で独自に発達した数学の紹介が『日本の数学～和算～』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【図形を組み合わせて長方形をつくろう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【○○の学習の前に】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【ルート2が無理数であることの証明】に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【速さと制動距離の関係を説明しよう】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『ふりかえり』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【立体の表面上の最短距離】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p><<各教科・種目別の観点>>(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、三角形の内角の和が180°になることを複数の方法で説明する学習活動が【TRY】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【カレンダーの問題】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【英和辞典の見出し語の総数を推定しよう】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、【確認問題】【問題A・B】【数学旅行】【ぐんぐんのぼそチャレンジ編】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、ユニバーサルデザインの視点に基づき、より多くの人々が利用しやすいように配慮しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学数学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	① □ 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【基本の問題】【○章の問題】【補充問題】に設定されている。 ② □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、1次式の加法と減法を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートのくふう』に掲載されている。 ③ □ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、建築士を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学を仕事に生かす』に掲載されている。		
3 内容と構成	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □ [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『数学の学習を始めよう!』に掲載されている。 ⑤ □ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、円周角の定理を利用した船の位置の見つけ方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【学び合おう】に設定されている。 ⑥ □ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、猛暑日の日数の変化を考える学習活動が【猛暑日は増えている?】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【作図の方法を説明しよう】に設定されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、社会科と関連した学習活動が【歩いて日本を測量した伊能忠敬】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、【くじのあたりやすさを調べて説明しよう】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、江戸時代に発達した和算の研究者の紹介が『和算の秘密を明かした大名』に掲載されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さはわかるかな?】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【確かめ▶算数】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【円周角を動かしていくと…】に設定されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【自動車が進むまでの距離を考えよう】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、例題と同じ型の既習問題が『同じように考える』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【どこまで見えるか調べよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑯ □ 補充や発展問題として、【基本の問題】【○章の問題】【数学 マイトライ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。 ⑰ □ 判型はB5判が採用されている。 ⑱ □ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。	書名	中学数学

【資料Ⅱ】

教科種目名《数学(数学)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【基本の問題】、章の最後では【章の問題A・B】、巻末では【補充の問題】に設定されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【たしかめよう】、章の最後では【○章をふり返ろう】、巻末では【補充問題】に設定されている。
学図	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【確かめよう】、章の最後では【○章のまとめの問題 基本・応用・活用】、巻末では【○年の復習】に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【基本の問題】、章の最後では【○章 章の問題】、巻末では【補充問題/実力アップ問題】に設定されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【練習問題】、章の最後では【○章 章末問題】、巻末では【力をつけよう】に設定されている。
教研	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【確認問題】、章の最後では【問題A・B】、巻末では【ぐんぐんのぼそうチャレンジ編】に設定されている。
日文	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【基本の問題】、章の最後では【○章の問題】、巻末では【補充問題】に設定されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では九九表のきまりを考える課題を例に、第2学年では数あてゲームの仕組みを考える課題を例に、第3学年ではドミノ倒しのコースの長さを比べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返りするためのノートの作り方が『数学マイノート』に掲載されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では持久走の記録を比べる課題を例に、第2学年では連続する3つの整数の和の性質を調べる課題を例に、第3学年では根号をふくむ数の近似値を求める課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返りするためのノートの作り方が『ノートの作り方例』に掲載されている。
学図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では数直線を使って正負の数の大きさを比べる課題を例に、第2学年では同類項の計算方法を考える課題を例に、第3学年では多項式どうしの乗法を考える課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返りするためのノートの作り方が『ノートの使い方』に掲載されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では貸した本の冊数の平均を求める課題を例に、第2学年では連続する3つの整数の和の性質を調べる課題を例に、第3学年では連続する2つの奇数の積に1を加えた数の性質を調べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返りするためのノートの作り方が『工夫してノートを書く』に掲載されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では円柱の表面積を求める課題を例に、第2学年では多角形の外角の和を求める課題を例に、第3学年では2次方程式の解き方を比べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返りするためのノートの作り方が『ノートをくふうして、学習に役立てよう』に掲載されている。
教研	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では加法の交換法則・結合法則を例に、第2学年では1次関数のグラフをかく課題を例に、第3学年では展開の公式を用いて 98×102 を計算する課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返りするためのノートの作り方が『ノートのつくり方』に掲載されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では1次式の加法と減法を例に、第2学年では単項式の乗法と除法を例に、第3学年では因数分解を例に、問題解決の過程を記録したり振り返りするためのノートの作り方が『ノートのくふう』に掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年ではスポーツ栄養士を例に、第2学年では気象予報士を例に、第3学年では渋滞学研究者を例に、社会で数学が活用されている事例が『MATH CONNECT』に掲載されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年ではスポーツデータアナリストを例に、第2学年では鉄道運行管理を例に、第3学年では製薬会社研究員を例に、社会で数学が活用されている事例が『社会にリンク』に掲載されている。
学図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年ではルーローの三角形を例に、第2学年ではGPSと連立方程式の関係を例に、第3学年ではビジネスの世界における因数分解の考え方を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学へのいざない』に掲載されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年ではスポーツアナリストを例に、第2学年では弁護士を例に、第3学年では都市模型制作者を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学しごと人』に掲載されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では琵琶湖の水位のコントロールを例に、第2学年ではAED使用時の救命率を示したグラフを例に、第3学年では標識再捕獲法を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学ライブラリー』に掲載されている。
教研	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では気象予報士を例に、第2学年ではスポーツアナリストを例に、第3学年ではフラクタル日除けを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学旅行』に掲載されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では建築士を例に、第2学年ではエンジニアを例に、第3学年ではデータアナリストを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学を仕事に生かす』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『大切にしたい数学の学び方』に掲載されている。
大日本	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『数学の世界へようこそ』に掲載されている。
学図	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『表現する力を身につけよう』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『みんなで数学をはじめよう!』に掲載されている。
啓林館	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『表現する力を身につけよう』に掲載されている。
教研	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『学習の進め方』に掲載されている。
日文	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『数学の学習を始めよう!』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年では正負の数を利用した身長の平均の求め方を例に、第2学年では連立方程式を利用したプリンとケーキの個数の求め方を例に、第3学年では2次方程式を利用した畑の通路の幅の求め方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【深い学び】に設定されている。
大日本	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年ではアイスクリームの体積の求め方を例に、第2学年では星形の図形の角の和の求め方を例に、第3学年では相似を利用した校舎の高さの調べ方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【解決のしかたを探ろう】に設定されている。
学図	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年では図形を重ねるための移動の方法を例に、第2学年では1次関数を利用した身の回りのことがらの予測を例に、第3学年では円周角が中心角の半分の大きさになることの証明を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【説明する力をつけよう】に設定されている。
教出	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年では方程式を利用したTシャツの値段の求め方を例に、第2学年では連立方程式を利用した班の数の求め方を例に、第3学年では2次方程式を利用した道幅の求め方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話し合ってみよう】に設定されている。
啓林館	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年では数直線を利用した加法の計算の仕方を例に、第2学年では文字式を利用して長さを比べる課題を例に、第3学年では方眼を使った異なる面積の正方形の作成を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話しあおう】に設定されている。
教研	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年ではヒストグラムと平均値との関係を考える課題を例に、第2学年では3の倍数の見分け方を説明する課題を例に、第3学年では三平方の定理の逆が成り立つ理由を考える課題を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【考えよう】に設定されている。
日文	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年では図と式を使って基石の総数の求め方を考える課題を例に、第2学年では三角形を用いた多角形の内角の和の求め方を例に、第3学年では円周角の定理を利用した船の位置の見つけ方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【学び合おう】に設定されている。

⑥【社会とかかわる力】社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	【社会とかかわる力】の「環境教育」について、第1学年では、海岸に漂着しているごみの量を調べる学習活動が【章の問題B】に、第2学年では、食品ロスの量を考える学習活動が【食品ロスの未来を予測しよう】に、第3学年では、二酸化炭素の排出量とマイバッグの使用を調べる学習活動が【章の問題B】に設定されている。
大日本	【社会とかかわる力】の「環境教育」について、第1学年では、ガソリン自動車の燃費の変化の傾向を調べる学習活動が【自動車の燃費を比べよう】に、第2学年では、蛍光灯とLED電球の値段と耐久時間の関係を調べる学習活動が【どちらの電球を買う?】に、第3学年では、校内の緑化運動を調べる学習活動が【花壇の面積を求めよう】に設定されている。
学図	【社会とかかわる力】の「環境教育」について、第1学年では、カーボンニュートラルをめざす取り組みを調べる学習活動が【深めよう】に、第2学年では、日本の複数の都市の降水量の変化を調べる学習活動が【降水量は多くなったのか?】に、第3学年では、エネルギー消費を調べる学習活動が【さらなる数学へ】に設定されている。
教出	【社会とかかわる力】の「環境教育」について、第1学年では、食料輸送の際の輸送エネルギーの消費を調べる学習活動が【学んだことを活用しよう】に、第2学年では、日本の都市の冬日の日照時間の傾向を調べる学習活動が【冬日は本当に減ってきているのかな?】に、第3学年では、地球温暖化を調べる学習活動が【考えよう!地球温暖化問題】に設定されている。
啓林館	【社会とかかわる力】の「環境教育」について、第1学年では、紙パックのトイレットペーパーへのリサイクルを調べる学習活動が【比例、反比例の利用】に、第2学年では、集中豪雨の発生回数傾向を調べる学習活動が【大雨の発生状況を調べよう】に、第3学年では、森林資源を無駄にしない角材の取り方を調べる学習活動が【平方根の利用】に設定されている。
数研	【社会とかかわる力】の「環境教育」について、第1学年では、地震の性質を調べる学習活動が【備えよう 地震の揺れ】に、第2学年では、世界の平均気温の上昇量を調べる学習活動が【学んだことを活用しよう】に、第3学年では、大気汚染物質の大きさを調べる学習活動が【数学旅行】に設定されている。
日文	【社会とかかわる力】の「環境教育」について、第1学年では、地震の性質を調べる学習活動が【地震のP波とS波】に、第2学年では、猛暑日の日数の変化を調べる学習活動が【猛暑日は増えている?】に、第3学年では、野生の動物の数を調べる方法を調べる学習活動が【標本の比率をもとにした推定】に設定されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【棒の本数を求めてみよう】に、第2学年では【マジックシートのしくみは?】に、第3学年では【先にゴールするのはどのコース?】に設定されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【75°の角をつくろう】に、第2学年では【スタートラインの位置は?】に、第3学年では【式を利用して数の性質を調べよう】に設定されている。
学図	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【ストローは何本必要?】に、第2学年では【文字を使って考えられるかな?】に、第3学年では【身のまわりのものの体積】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【キャップは何個集まっているのかな?】に、第2学年では【角の大きさの求め方を考えよう】に、第3学年では【整数の性質を調べてみよう】に設定されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【1日乗り放題のチケットを買った方がいい?】に、第2学年では【班の数はいくつ?】に、第3学年では【ピザをつくろう】に設定されている。
数研	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【必要な石の数を求めよう】に、第2学年では【n角形の内角の和を求めよう】に、第3学年では【図形を組み合わせよう】に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【作図の方法を説明しよう】に、第2学年では【くじのあたりやすさを調べて説明しよう】に、第3学年では【船の位置を見つけよう】に設定されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では保健体育科と関連した学習活動が【ランドルト環のしくみ】に、第2学年では英語科と関連した学習活動が【アメリカホームステイ】に、第3学年では理科と関連した学習活動が【瞬間の速さ】に設定されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では理科と関連した学習活動が【震源から何km離れているのかな】に、第2学年では保健体育科と関連した学習活動が【どんな運動をどれくらい行えばいい?】に、第3学年では社会科と関連した学習活動が【数のひろがり】に設定されている。
学図	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では社会科と関連した学習活動が【時刻がもどる?】に、第2学年では理科と関連した学習活動が【頂上は何℃?】に、第3学年では美術科と関連した学習活動が【デッサンと相似】に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では社会科と関連した学習活動が【時差は何時間かな?】に、第2学年では理科と関連した学習活動が【冬日は本当に減ってきているのかな?】に、第3学年では美術科と関連した学習活動が【黄金比】に設定されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では保健体育科と関連した学習活動が【ランドルト環】に、第2学年では理科と関連した学習活動が【雷さまはどこ?】に、第3学年では美術科と関連した学習活動が【ストリングアートの中のきまりをさがそう】に設定されている。
数研	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では家庭科と関連した学習活動が【温める時間をちょうどよく設定しよう】に、第2学年では理科と関連した学習活動が【温度の単位】に、第3学年では社会科と関連した学習活動が【選挙速報】に設定されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では社会科と関連した学習活動が【歩いて日本を測量した伊能忠敬】に、第2学年では保健体育科と関連した学習活動が【スタート位置を決めよう】に、第3学年では理科と関連した学習活動が【時間と落ちる距離の関係】に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【身長を平均をくふうして求めてみよう】に、第2学年では【2つの正三角形の性質は?】に、第3学年では【四角形の各辺の中点を結んだ図形は?】に設定されている。
大日本	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【私たちの通学時間について】に、第2学年では【倍数の見分け方】に、第3学年では【コピーで拡大するときの倍率を調べよう】に設定されている。
学図	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【カレンダーの数の秘密を考えよう】に、第2学年では【条件を変えて考えよう】に、第3学年では【問題づくりにチャレンジ!】に設定されている。
教出	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【75°の角を作図してみよう】に、第2学年では【角の大きさの求め方を考えよう】に、第3学年では【どのくらい遠くまで見渡すことができるのかな?】に設定されている。
啓林館	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【数あてマジックのしくみを考えよう】に、第2学年では【角の大きさを求めることができるのかな?】に、第3学年では【通路の幅を何mにすればいいかな?】に設定されている。
数研	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【硬貨の枚数と重さの関係調べよう】に、第2学年では【時速9kmで走った道のりを求めよう】に、第3学年では【やってみよう 全数調査・標本調査】に設定されている。
日文	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【確率の考えの活用】に、第2学年では【くじのあたりやすさを調べて説明しよう】に、第3学年では【船の位置を見つけよう】に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、麻の葉をはじめとした複数の模様がある『日本の伝統模様』に、第2学年では、折り紙で正多角形を作る複数の方法がある『折り紙で正多角形を作ろう』に、第3学年では、伊能忠敬が日本地図を作った方法がある『伊能忠敬の業績を知ろう』に掲載されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、伝統工芸品の手まりの模様が『手まり模様の秘密』に、第2学年では、室町時代の小石の遊びのさっさ立てが『さっさ立てに挑戦しよう』に、第3学年では、さしがねを使った丸太の切り方が『丸太から角材を切り出す方法を考えよう』に掲載されている。
学図	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、江戸時代の方程式の解き方が『用語の由来「方程式」』に、第2学年では、青海波をはじめとした複数の文様が『合同な図形はしきつめられる?』に、第3学年では、葛飾北斎が取り入れた構図の方法がある『黄金比って何?』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、青海波をはじめとした複数の模様が『日本の伝統模様』に、第2学年では、地図などの身近な紙の折り方が『ミウラ折り』に、第3学年では、日本で独自に発達した数学の紹介がある『和算と算額』に掲載されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、市松模様をはじめとした日本の伝統的な模様が『日本の伝統模様』に、第2学年では、ルールに沿った数あて遊びのさっさ立てが『勘者御伽双紙の紹介』に、第3学年では、大工が使うさしがねの紹介がある『曲尺の秘密』に掲載されている。
数研	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、江戸時代の書物にある計算方法の紹介がある『塵劫記』に、第2学年では、日本古来の鱗模様などの紹介がある『図形の性質と合同』に、第3学年では、日本で独自に発達した数学の紹介がある『日本の数学～和算～』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では江戸時代に発達した和算がある『小町算』に、第2学年では和算の中の数あて遊びがある『さっさ立て』に、第3学年では江戸時代に発達した和算の研究者の紹介がある『和算の秘密を明かした大名』に掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第1学年では、立体の模型を作り特徴を調べる学習活動が【⑦～⑨の立体の共通点やちがいをいってみましょう】に、第2学年では、ひもを使って直角をかく学習活動が【直角ができるのはなぜ？】に、第3学年では、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【いろいろな面積の正方形をかいてみよう】に設定されている。
大日本	体験活動の充実について、第1学年では、立体の模型を作り特徴を調べる学習活動が【ヒンメリを作ろう】に、第2学年では、実際に模様をかいて観察する学習活動が【アーガイルチェックを調べよう】に、第3学年では、ゲームを実行してその仕組みを考える学習活動が【数当てゲームをやってみよう】に設定されている。
学図	体験活動の充実について、第1学年では、ルーラーキャッチの結果を比べる学習活動が【反応の速さはどのくらいかな？】に、第2学年では、さいころを実際に投げて目の出やすさを調べる学習活動が【出やすいのはどれ？】に、第3学年では、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【長方形の面積は？】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第1学年では、紙コプターを作り滞空時間を比べる学習活動が【滞空時間の長い紙コプターを作ろう！】に、第2学年では、さいころを多数回投げて回数を調べる学習活動が【さいころの目の出やすさを調べてみよう！】に、第3学年では、格子上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さ？】に設定されている。
啓林館	体験活動の充実について、第1学年では、面積の定められた複数の長方形をかく学習活動が【同じ面積の長方形をつくろう】に、第2学年では、作図した三角形の特徴を考える学習活動が【証明といえるかな？】に、第3学年では、複数の円周角をかいて大きさを比べる学習活動が【ストリングアートの中のきまりをさがそう】に設定されている。
数研	体験活動の充実について、第1学年では、封筒を使って立体を組み立て特徴を調べる学習活動が【封筒で立体を作ってみよう】に、第2学年では、合同な三角形を作図する学習活動が【三角形の合同条件】に、第3学年では、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【図形を組み合わせて長方形をつくろう】に設定されている。
日文	体験活動の充実について、第1学年では、トランプを使って正負の数の和を比べる学習活動が【トランプゲームをしよう！】に、第2学年では、三角定規を使った平行線のひき方を考える学習活動が【平行線になる条件】に、第3学年では、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さはわかるかな？】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【算数から数学へ】に、第2学年では【ちょっと確認 算数】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【ルート2は本当に分数で表せない？】に設定されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【小学校算数のふり返り】に、第2学年では【二等辺三角形の性質】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【三角形の重心】に設定されている。
学図	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【ふりかえり～算数から数学へ～】に、第2学年では【ふりかえり】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【乗法公式を使った分母の有理化】に設定されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【〇章を学習する前に】に、第2学年では【〇章を学習する前に】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【三角形の重心】に設定されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【ふりかえり 算数】に、第2学年では【ふりかえり 算数】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【ルート2が無理数であることの証明】に設定されている。
数研	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【〇〇の学習の前に】に、第2学年では【〇〇の学習の前に】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【ルート2が無理数であることの証明】に設定されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【確かめ▶算数】に、第2学年では【確かめ▶算数】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【円周角を動かしていくと…】に設定されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【グラフを使って考えよう】に、第2学年では【飲み物はいつまで冷たく保てる？】に、第3学年では【走行時の速さを推測しよう】に設定されている。
大日本	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【進行のようすを調べよう】に、第2学年では【富士山八合目の気温を予想してみよう】に、第3学年では【停止距離は何mになるだろうか】に設定されている。
学図	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【震源までの距離は？】に、第2学年では【ダイヤグラム】に、第3学年では【スピードと停止距離の関係は？】に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【キャップは何個集まっているのかな？】に、第2学年では【どちらの自動車を買うとよいのかな？】に、第3学年では【何秒後かな？】に設定されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【リサイクルすると？】に、第2学年では【2人が出会う地点はどこかな？】に、第3学年では【車は急にとまれない】に設定されている。
数研	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【キャップの重さを予想しよう】に、第2学年では【グラフから読み取れる情報を考えよう】に、第3学年では【速さと制動距離の関係を説明しよう】に設定されている。
日文	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【何m走ることができるかを考えよう】に、第2学年では【総費用で比べよう】に、第3学年では【自動車が止まるまでの距離を考えよう】に設定されている。

⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、例題と同じ型の問題であることを表したハートマーク (♥) が『問〇』に掲載されている。
大日本	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『思い出そう』に掲載されている。
学図	生徒の学習上の困難さへの対応について、問題の解決方法を探す上で関わりのある視点が『見方・考え方』に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『もどって確認』に掲載されている。
啓林館	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『ふりかえり』に掲載されている。
教研	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『ふりかえり』に掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さへの対応について、例題と同じ型の既習問題が『同じように考える』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【待ち時間を予想するためには?】に、第2学年では【くじをひく順番は?】に、第3学年では【先にゴールするのはどのコース?】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
大日本	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【図形の面積の変わり方を調べよう】に、第2学年では【1次関数を利用して面積の変化を調べよう】に、第3学年では【図形のなかに現れる関数について調べよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
学図	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【垂直二等分線の作図】に、第2学年では【鉛筆の回転角は何度?】に、第3学年では【時間と距離の関係は?】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【球の表面積】に、第2学年では【グラフはどんな形になるかな?】に、第3学年では【三平方の定理の証明パズル】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
啓林館	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【どこで水を飲ませる?】に、第2学年では【起こりやすいのはどれ?】に、第3学年では【校舎の高さを求めるには?】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教研	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【必要な石の数を求めよう】に、第2学年では【鋭角三角形、鈍角三角形】に、第3学年では【立体の表面上の最短距離】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【見取図、展開図、投影図】に、第2学年では【図を変形して考えよう】に、第3学年では【どこまで見えるか調べよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、正の数に負の数を書き表す学習活動が、第2学年では、三角形の合同条件を基に角の二等分線の作図を証明する学習活動が、第3学年では、単項式と多項式の乗法を基に多項式どうしの乗法を考える学習活動が【Q考えてみよう】に設定されている。
大日本	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、角の二等分線を基に垂線の作図方法を考える学習活動が、第2学年では、複数のドットプロットを基に分布の様子を比べる学習活動が、第3学年では、1次関数を基に2乗に比例する関数の変化の割合を考える学習活動が【?考えよう】に設定されている。
学図	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、比例定数が正の数の比例のグラフを基に比例定数が負の数のグラフをかく学習活動が、第2学年では、等式の変形を基に連立方程式の代入法を考える学習活動が、第3学年では、負の数の数直線上の表し方を基に平方根を数直線上に表す学習活動が【Question】に設定されている。
教出	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、異なる大きさの角の作図方法を組み合わせて75°の角を作図する学習活動が、第2学年では、三角形の合同条件を基に直角三角形の合同条件を見つける学習活動が、第3学年では、因数分解を基に2次方程式の解き方を話し合う学習活動が【Q】に設定されている。
啓林館	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、ひし形の対角線を基に垂線の作図方法を考える学習活動が、第2学年では、三角形の内角の和を基に多角形の内角の和を求める学習活動が、第3学年では、比例定数が正の数の放物線を基に比例定数が負の数の放物線をかく学習活動が【ひろげよう】に設定されている。
教研	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、係数に小数を含む1次方程式と係数に分数を含む1次方程式の解き方を比べる学習活動が、第2学年では、三角形の内角の和が180°になることを複数の方法で説明する学習活動が、第3学年では、展開の公式を基に因数分解する方法を考える学習活動が【TRY】に設定されている。
日文	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、分配法則を使ってかっこがある方程式を解く学習活動が、第2学年では、仮定と結論を入れかえたことがらがいつでも正しいかどうかを考える学習活動が、第3学年では、1次関数を基に2乗に比例する関数の変化の割合を考える学習活動が【Q確かめよう】に設定されている。

⑩	言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。	
	東書	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【棒の本数を求めてみよう】に、第2学年では【角の大きさを求める方法を考えてみよう】に、第3学年では【四角形の各辺の midpoint を結んだ図形は？】に設定されている。
	大日本	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【アイスクリームの体積を比べよう】に、第2学年では【動き方のしくみを調べよう】に、第3学年では【通路の幅を決めよう】に設定されている。
	学図	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【三角形に接する円を作図しよう】に、第2学年では【赤道のまわりにロープを巻くと？】に、第3学年では【動かして考えよう】に設定されている。
	教出	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【キャンドルライトはいくつ必要なのかな？】に、第2学年では【当たりやすさは変わらないのかな？】に、第3学年では【箱の高さは何cmになるのかな？】に設定されている。
	啓林館	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【緊急地震速報】に、第2学年では【体を動かして健康を維持しよう】に、第3学年では【全身がうつる鏡】に設定されている。
	教研	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【図書だよりの問題】に、第2学年では【誕生日を当てるマジックの問題】に、第3学年では【カレンダーの問題】に設定されている。
	日文	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【基石の総数を表す式を求め説明しよう】に、第2学年では【多角形の内角の和を求めよう】に、第3学年では【数の性質を見いだし証明しよう】に設定されている。
⑪	不確定な事象を取り扱う中で、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	
	東書	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【現在のチームを分析しよう】に、第2学年では【牛乳の販売数の傾向は？】に、第3学年では【どのように調査しているのかな？】に設定されている。
	大日本	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【自動車の燃費を比べよう】に、第2学年では【バレーボール選手の身長を比べよう】に、第3学年では【英和辞典の見出し語は全部で何語か推定しよう】に設定されている。
	学図	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【反応の速さはどのくらいかな？】に、第2学年では【降水量は多くなったのか？】に、第3学年では【この調査は有効か？】に設定されている。
	教出	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【滞空時間の長い紙コプターを作ろう！】に、第2学年では【冬は本当に減ってきているのかな？】に、第3学年では【どんな調査が行われているのかな？】に設定されている。
	啓林館	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【滞空時間の長いリボンをつくろう】に、第2学年では【どのようなことを表している図かな？】に、第3学年では【47都道府県ランキングを見てみよう】に設定されている。
	教研	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【靴の仕入れについて計画を立てよう】に、第2学年では【ハンドボール投げのデータの傾向を調べよう】に、第3学年では【英和辞典の見出し語の総数を推定しよう】に設定されている。
	日文	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【気温は高くなってきている？】に、第2学年では【猛暑日は増えている？】に、第3学年では【どんな調査のしかたがあるかな？】に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑫	各内容の分量とその配分は適切であるか。	
	東書	補充や発展問題として、節の最後に【基本の問題】、章の最後に【章の問題A・B】、巻末では【もっと数学をつなげよう】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。
	大日本	補充や発展問題として、節の最後に【たしかめよう】、章の最後に【○章を振り返ろう】、巻末では【もっと数学の世界へ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。
	学図	補充や発展問題として、節の最後に【確かめよう】、章の最後に【○章のまとめの問題 基本・応用・活用】、巻末では【さらなる数学へ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。
	教出	補充や発展問題として、節の最後に【基本の問題】、章の最後に【○章 章の問題】、巻末では【数学ライブラリー】が掲載されている。第2学年は7章、第1、3学年は8章で構成されている。
	啓林館	補充や発展問題として、節の最後に【練習問題】、章の最後に【○章 章末問題】、巻末では【数学広場】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。
	教研	補充や発展問題として、節の最後に【確認問題】、章の最後に【問題A・B】、巻末では【数学旅行】【ぐんぐんのぼそうチャレンジ編】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。
	日文	補充や発展問題として、節の最後に【基本の問題】、章の最後に【○章の問題】、巻末では【数学 マイ トライ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。

② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はB5判が採用されている。
大日本	判型はB5判が採用されている。
学図	判型はB5判が採用されている。
教出	判型はB5判が採用されている。
啓林館	判型はB5判が採用されている。
教研	判型はB5判が採用されている。
日文	判型はB5判が採用されている。
② 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』『ルビなどの小さい文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学図	『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。
教研	『この教科書は、ユニバーサルデザインの視点に基づき、より多くの人が利用しやすいように配慮しています。』と表記されている。
日文	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	第1学年 23ページ 風の塔（川崎市） 24ページ 桜の開花日（横浜市） 111ページ 橋本駅（相模原市） 157ページ 万葉の里 白雲荘（足柄下郡） 192ページ 横浜みなとみらい21（横浜市） 第2学年 191ページ 小田原市役所（小田原市） 第3学年 212ページ 都道府県ランキング（神奈川県）
大日本	第1学年 250ページ 都道府県別中学校数（神奈川県） 第2学年 209ページ 平均気温（横浜市） 第3学年 38ページ 横浜マリニタワールの写真（横浜市）
学図	第1学年 259ページ 降水確率（横浜） 第2学年 表紙 箱根寄木細工（神奈川県足柄下郡） 第3学年 243ページ 第98回東京箱根間往復大学駅伝競走往路・復路（箱根市） 270ページ 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏 280ページ 大日本沿岸輿地図（相模）
教出	第1学年 70ページ、71ページ 気象予報士長谷部愛さん（神奈川県出身）、 214ページ 湘南台文化センター（藤沢市）、 297ページ 『横浜ランドマークタワー』（横浜市） 第2学年 62ページ デュアスロン大会（川崎市）、 187ページ 川崎フロンターレの選手・写真左（川崎市）、 206ページ 神奈川県の面積2416km ² 、 207ページ 生麦ジャンクション付近の航空写真（横浜市）、 218ページ 『札幌と横浜の冬日の日数の経年変化について』（横浜市） 第3学年 114ページ 箱根町の写真（足柄郡）、 255ページ 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏（葛飾北斎作）
啓林館	第1学年 124ページ パシフィコ横浜国立大ホール（横浜市） 第2学年 187、188ページ 都道府県のごみのリサイクル率（神奈川県） 209ページ 入試問題にチャレンジ（神奈川県 2022年度 改題） 第3学年 204ページ 睡眠時間ランキング（神奈川県）
教研	第2学年 12ページ メリーゴーラウンド（神奈川県横浜市）
日文	掲載なし

② 一冊ごとの重量 (g)

	冊数	1年	2年	3年
東書	3	546	424	470
大日本	3	548	422	508
学図	3	554	456	558
教出	3	582	456	518
啓林館	3	492	396	466
教研	3	522	442	534
日文	3	546	440	502